

2021年8月26日

鹿児島大学病院の口腔外科、口腔顎顔面外科において
遊離皮弁再建術を伴う拡大手術を受けた患者さんへ
(医学系研究に関する情報)

鹿児島大学病院 B 棟 3 階病棟では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の診療記録等をまとめる研究です。このような研究は、文部科学省・厚生労働省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究について詳しくお知りになりたい時や、研究への参加を希望されない場合は下記の「お問い合わせ先」へご連絡ください。

【研究課題名】

歯科領域における遊離皮弁再建術を伴う拡大手術による術後せん妄の要因

【研究機関】

鹿児島大学病院 B 棟 3 階病棟

【研究責任者】

鹿児島大学病院 B 棟 3 階病棟

看護師 押川 大輔

【研究の目的】

手術を受けた患者は術後せん妄という精神障害を発症することがあります。せん妄を発症すると一時的な意識障害とともに、注意障害、記憶障害、見当識障害、知覚障害など様々な症状が発現し、術後の回復過程に大きく影響を及ぼすといわれています。その為、術後せん妄の予防や発症の程度を軽度にするケアを行うことはとても重要です。しかし、これまで歯科領域における遊離皮弁再建術を伴う拡大手術においては、術後せん妄の発症率や要因は明らかにされていません。

今回、遊離皮弁再建術を伴う拡大手術を受けた患者さんの術後せん妄を発症する要因を明らかにすることで、せん妄発症の予防や発症の程度を軽減するための効果的な看護提供のための一助とします。

【研究の方法】

医師の診療録や看護記録において遊離皮弁再建術を伴う拡大手術を受けた患者さんのせん妄発症の要因に関するデータを電子カルテより収集し、統計的に調査します。

【対象となる患者さん】

鹿児島大学病院の口腔外科、口腔顎顔面外科で、2017年4月から2020年3月までに遊離皮弁再建術を伴う拡大手術を受けた患者さんを対象にしています。

【試料や診療録（カルテ）から利用する情報】

医師の診療録や看護記録、年齢、性別、診断名、術式、ICU入室期間、既往歴の有無、安全帯使用の有無、向精神薬使用の有無、術前の生活のしやすさ評価表（気持ちのつらさ、疼痛）、術前・術後の緩和ケアチーム介入の有無、リエゾンチーム介入の有無、眠剤使用の有無、手術後の安静度、手術前のせん妄発症の有無、認知症の有無、アルコール摂取量の情報を利用します。使用した診療情報は、この研究が終了してから2023年3月31日まで、鹿児島大学病院B棟3階病棟で保管いたします（管理責任者：看護部B棟3階病棟 看護師長 川島 優子）。保存期間満了後、個人を特定できない形に粉砕し廃棄いたします。

【個人情報の取り扱いについて】

研究で使用する診療情報は、患者さんの氏名や住所など、患者さんを直接特定できる個人情報を削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌などで発表することがありますが、その際も患者さんを特定できる情報は使用しません。

【研究の資金源等、関係機関との関係について】

この研究は、企業等の第三者機関からこの研究のための資金提供や労務提供は受けていませんので、利害の衝突は発生しません。

【参加を希望しない患者さんへ】

この研究に参加を希望されない場合は、下記問い合わせ先までご連絡ください。あなたに関するデータを削除します。ただし、学術発表などすでに公開された後のデータなど、患者さんまたはご家族からの撤回の内容に従った措置を講じることが困難となる場合があります。

【問い合わせ先】

〒890-8520

鹿児島市桜ヶ丘 8 丁目 35 番地 1 号

鹿児島大学病院 B 棟 3 階病棟

看護師 押川 大輔

TEL：099-275-6571

FAX：099-275-6574